

授業科目	* 在宅看護学演習				単位	1				
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	NU21402J			
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2					
担当教員	石井 美紀代、吉原 悦子									
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院看護師または市町村保健師の経験をふまえ、臨地の状況に沿った演習を行う。模擬事例を通して、在宅看護計画を作成し、在宅療養者と家族を対象とした訪問看護の役割・機能のアセスメントを演習する。また、地域での療養を支えるためには、地域包括ケアシステムが必要不可欠である。そのため、地域のケアマップやケアプランの作成を通して、支援体制の構築を演習する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族(事例)の安全・安楽を考慮し、自立を支援する看護計画が作成できる。 2. 居宅の環境と条件に合わせた臨機応変の看護技術を考えることができる。 3. 地域ケアシステムを考慮し在宅療養者と家族(事例)を支えるケアプランを検討できる。 4. 演習事例から、地域包括ケアシステムの構築に看護が果たす役割を考えることができる。 5. ケアプランを実行するために、多職種多機関との連携の方法を考え、協働する態度を身につける。 6. 在宅療養者の自宅に訪問する看護師が信頼関係を樹立するために必要なマナーとコミュニケーション技術について考え、実践の準備ができる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	50	0	40	10	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)	20		20	10			50			
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)	10						10			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)	10		10				20			
態度 (DP4-2)	10		10				20			
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
標準的なレベルをすべて達成した上で、事例に対して、詳細にアセスメントし、より個別性がある看護過程が展開できる。ケアシステムに関しては、地域を詳細にイメージできる。その上で、フォーマルサービス、インフォーマルサービスを含めたケアプランを立案できる。さらに、提示した事例以外の特定集団に共通する課題を、応用して説明することができる。					<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族(事例)の安全・安楽を考慮し、自立を支援する看護計画が作成できる。 2. 居宅の環境と条件に合わせた臨機応変の看護技術を考えることができる。 3. 地域ケアシステムを考慮し在宅療養者と家族(事例)を支えるケアプランを作成できる。 4. 演習事例から、地域包括ケアシステムの構築に看護が果たす役割を考えることができる。 					

			5. ケアプランを実行するために、多職種多機関との連携の方法を考え、協働する態度を身につける。 6. 在宅療養者の自宅に訪問する看護師が信頼関係を樹立するために必要なマナーとコミ	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:療養生活を支えるとは? (石井) 事例のビデオから「療養・介護生活を支える」を考える	個人ワーク	復習:ワークシートに取り組み、自分の考えをまとめる	60
2	テーマ:在宅看護の利点・欠点を考える① (石井・吉原・水原) 与えられたテーマについて利点と欠点を調べる	グループワーク	与えられたテーマについて文献、資料、データを検索してくる	90
3	テーマ:在宅看護の利点・欠点を考える② (石井・吉原・水原) 調べた内容を資料化する	グループワーク	発表に向けて、講義時間内でできなかった作業の続きを行う(グループワーク)	90
4	テーマ:在宅看護の利点・欠点を考える③ (石井・吉原・水原) 同じテーマのグループで発表	グループワーク	他のグループ発表と比較し、強味と弱点を検討して、不足分を加える	90
5	テーマ:在宅看護の利点・欠点を考える④ (石井・吉原・水原) 各テーマの優秀のグループが発表	グループワーク	発表された内容について、自分の問題意識をまとめる	予習 60 復習 60
6	テーマ:地域ケアシステム (吉原・石井・水原) 公的な居宅介護サービスについて調べ、地域のケアシステムを図式化する(要介護高齢者)	グループワーク	予習:高齢者の介護制度について調べてくる。 復習:講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	予習 60 復習 60
7	テーマ:地域ケアシステム (吉原・石井・水原) 公的な居宅介護サービスについて調べ、地域のケアシステムを図式化する(障害者)	グループワーク	予習:障害者福祉の制度について調べてくる。 復習:講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	予習 60 復習 60
8	テーマ:地域ケアシステム (吉原・石井・水原) 公的な居宅介護サービスについて調べ、地域のケアシステムを図式化する(小児)	グループワーク	予習:児童福祉の制度について調べてくる。 復習:講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	予習 60 復習 60
9	テーマ:ケアプラン作成 (石井・吉原・水原) 在宅療養者および家族の要望をふまえて在宅療養を支える制度や社会サービスを考えながらケアプランを作成する	グループワーク	講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	90
10	テーマ:ケアプラン作成 (石井・吉原・水原) 在宅療養者および家族の要望をふまえて在宅療養を支える制度や社会サービスを考えながらケアプランを作成する	グループワーク	講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	90
11	テーマ:看護過程の展開 (石井・吉原・水原) 事例を理解するための基礎知識をまとめる	個人ワーク	口頭試問の準備	90
12	テーマ:看護過程の展開 (石井・吉原・水原) 事例に関連した知識について自己学習の成果を発表する	口頭試問	復習:口頭試問の振り返り	90
13	テーマ:看護過程の展開 (石井・吉原・水原) 必要な情報を考え、事例のアセスメントを組み立てる	グループワーク	予習:看護過程論、成人老年看護学演習で実施した看護過程の展開方法を理解してくる。 復習:講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	90

14	テーマ:看護過程の展開 (石井・吉原・水原) 対象の QOL を踏まえた看護の方針を立てる 療養上の課題をまとめる	グループワーク	講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	90
15	テーマ:看護過程の展開 (石井・吉原・水原) 長期目標、短期目標をたてて、実際の計画を立案する	グループワーク	講義時間内にできなかった作業の続きを行う。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの既習の看護学の知識と、同時に開講されている「在宅看護学」の知識を活用する必要があります。グループワークでは、リーダーシップ・メンバーシップを常に意識して、協力して考えましょう。			
テキスト	地域療養を支えるケア(メディカ出版) 授業中に紹介する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ケアプラン、看護過程の展開を通して、療養者が望む生活を実現するには看護だけで支えることができないことを理解し、連携・協働の意義を深く考えてみてください。 ※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。			

達成度評価に関するコメント	自分で看護過程が展開やケアプランの作成ができることを求めます。課題はグループの力を借りながら、個人で作りに上げて提出してもらいます。
---------------	--